

報 告

2014年度 創価大学法科大学院 教員研究報告会
2015.01.16 於：第一合議室

FD 委員長
花 房 博 文

本研究報告会は、創価大学法科大学院の教員のFD活動の一環として、実務的研究と理論的研究との架橋、学際的研究の活性化を図ることを目的として開催するものとします。

各報告者は、現在研究している各自の研究内容に関して、

- 1 現在の研究テーマについて
- 2 問題点の所在・法律上の争点
- 3 実務・学説の状況
- 4 報告者の現時点での問題意識・考察
- 5 進捗状況・発表予定

の順で、簡単に研究活動報告を行ってください。

報告時間は、質疑応答も含めて一応30分程度ですが状況に応じて報告・議論を延長します。

参加者はできる限り、自らの分野からの理解や疑問について報告者に質疑応答をお願いいたします。

●第一部 15:00 ~ 16:30

- 1 「他人の規制薬物の施用に関与し、それに起因してその他人が死亡した場合における関与者に対する傷害致死罪の適用の可否・適用範囲に関する一試論」……………刑事訴訟法 阿部 英雄 教授
- 2 「不作為の共犯について」……………刑法 佐瀬 恵子 准教授
- 3 「マンション管理組合とその後法人化された管理組合法人間の、実体法・訴訟法の主体としての同一性についての一考察」……………民法 花房 博文 教授

●研究科委員会

●第二部 18:30 ~ 20:30

- 4 「『判例研究『セイクレスト社外監査役責任追及訴訟事件』—大阪地判平成25年12月26日金判1439号2頁—」……………商法 黒木 松男 教授
- 5 「表現の自由と『公的関心事項』—2011年Snyder判決を契機に—」……………憲法 藤田 尚成 教授
- 6 「『事実上の取締役』の第三者に対する責任に関する近時の裁判例—大阪地判平成23年7月25日判タ1401号188頁/東京地判平成26年4月24日LLI/DB 登載—」……………商事法 鈴木 美華 教授
- 7 「反論権について」……………民事法 田中 秀浩 教授